

| | | | | | | |
|-----------------|--|---------|--------------|---------------|-------|----|
| 授 業 科 目 名 | フレッシュマン・ セミナー | 教 員 名 | 劉 一杰 保田昌秀 | 免許・資格 との関係 | 中学校教諭 | 必修 |
| | | | | | 小学校教諭 | 必修 |
| 授 業 形 態 | 授業 | 担 当 形 態 | オムニバス | 卒業要件 | 幼稚園教諭 | 必修 |
| 科 目 番 号 | MIC101 | 配 当 年 次 | 1 年前期 | | 保育士 | 必修 |
| 単 位 数 | 2 単位 | | | 国際教養学部 | 必修 | |
| 科 目 | 教育学部 | | | | | |
| 各科目に含める 必要事項 | | | | | | |
| 一 般 目 標 | フレッシュマン・セミナーは全学共通科目として開講される。学校法人宮崎学園の学の精神「礼節・勤労」に則り、豊かな教養と高度な技能を備えた人材を育成するために、大学での学びの基礎を学習し、コミュニケーション能力に優れた教育者となるための基盤を身につけることを目標とする。さらには、地域社会から国際社会にまで広く貢献できる社会人となるために必要な基本的知識・技能及び人格形成を目指す。 | | | | | |
| ディプロマ・ポリシーとの関係 | 本講義は、国際教養学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「1. クリティカル・シンキング（批判的・分析的思考法）をベースとした高度な思考（比較、分析、総合、評価）能力を身につけている」および教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「大学での自主的・継続的な学習能力の修得」と「コミュニケーション能力の修得」をテーマとしており、以下の3つの到達目標を育成する科目として配置している。 | | | | | |
| 到 達 目 標 | (1) これからの大学生活を過ごす上で必要な大学教育の基本的事項に関する情報を修得する。 (2) 学部カリキュラムを効率的に学習する上で必要な教育資源を活用する技術を修得する。 (3) 自主的、継続的な学習を進めていく上で必要な学習方法・学習スキルを修得する。 | | | | | |
| 授 業 の 概 要 | 授業の構成は、大きく4つに分かれる。 ① 今後4年間の学びの場となる大学教育の概要や規則、建学の精神、大学における教育資源の活用方法について学ぶ。 ② 社会人として期待される行動、 ③ 英語学習に必要な基本的な学習方法・学習スキルの獲得を学習する。 ④ 正しい日本語を運用する力は、大学での学び、優れた教育者となる基盤になる。正しく日本語を運用し、自分の意見や論点を分かりやすく書く・話すことを学ぶ。 これらの学習には、オムニバス方式で実施され、グループワーク、対話型授業、ワークシートを用いるアクティブラーニング等で行う。 | | | | | |
| SPARC事業との 関連 | この授業は、地域人材育成事業（SPARC）ベーシックコースの必修科目となっている。 下記の授業計画の☆印の付いた授業で、SPARCの教育内容「①地域学」を講義する。 | | | | | |
| SDGsとの関連 | 本授業は、国連が目指すSDGsと関連した内容を含む。SDGs目標のうち、「4. 質の高い教育をみんなにすべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」を実現するための勉学の基礎となる内容を含んでいます。 | | | | | |
| 授 業 計 画 | 第1回 学びのすすめ・読書のすすめ・就活で問われるもの（入試広報部） 第2回 学校法人宮崎学園の沿革や建学の精神を知る（山下理事長） 第3回 多言語と文化（マーク・ウオーターフィールド） 第4回（SILA）国際教養学部の教育方針について知る（早瀬学部長） （EDU）教育学部の教育方針について知る（河原学部長） 第5回（SILA）海外留学と海外研修体験談（西村副学長） （EDU）教員採用試験体験談と対策講座（渡邊耕二） 第6回JICA海外協力隊を通じた日本の国際協力活動について（渡邊耕二） 第7回 日本語の文章表現（1）日本語を学ぶ意義・よい文章の条件（田上幸雅） 第8回 日本語の文章表現（2）村を豊かにする・伝える文章を書く（田上幸雅） 第9回 英語学習法について学ぶ（ウォン・キム） 第10回 英語学習法について学ぶ（ウォン・キム） 第11回 図書の探し方や借用方法など図書館の基本的な利用方法について（附属図書館担当者） 第12回 ビブリオバトル：図書館にある本の書評を書く（早瀬郁子） 第13回 日本語を正しく書く力と話す力の必要性を理解する（早瀬郁子） 第14回 大学における主体的な学びとコミュニケーション：教育心理学から考える学習、期末試験の課題について 第15回 ☆宮崎が誇る製品と技術（保田昌秀） 期末試験 | | | | | |
| 学 生 対 する 評 価 | 平常点（75点）、期末試験（25点）の合計で評価を行う。 ・ 毎授業時間の後半15分で課題を学生に課します。課題は5点満点で採点し、15回分を集めて75点満点で評価します。 | | | | | |

| | |
|--------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 25 点満点の期末試験を実施します。 ・ 期末試験の課題を 14 回目の授業で課し、試験会場でそれについて筆記で解答する。 |
| 時間外の学習について | (事前・事後学習として週 4 時間以上行うこと。) 講義内容の指定した箇所を事前に予習をし、不明な点等を明確にしておくこと。また、講義内容に関連した課題に答えること。 |
| テキスト | |
| 参考書・参考資料等 | |
| 担当教員からのメッセージ | 各授業の終盤で課される課題に取り組んで、Google Forms等を授業内で解答する。その提出で出席確認を行う。 |
| オフィスアワー | 木曜日の放課後 |

2026 年度フレッシュマン・セミナー 日程及び分担

| 回 | 月日 | 担当者 | 内容 |
|----|--------------------------|-----------------|---|
| 1 | 4 月 16 日 | 入試広報部 | 学びのすすめ・読書のすすめ・就活で問われるもの |
| 2 | 4 月 23 日 | 山下恵子理事長 | 学校法人宮崎学園の沿革や建学の精神を知る |
| 3 | 4 月 30 日 | M ウォーターフィールド | 多言語と文化 |
| 3 | 5 月 07 日 2 クラス で実施 | 早瀬学部長 河原学部長 | (SILA) 国際教養学部の教育方針について知る (EDU) 教育学部の教育方針について知る |
| 5 | 5 月 14 日 2 クラス で実施 | 西村直樹副学長 渡邊耕二 | (SILA) 海外留学と海外研修体験談 (EDU) 教員採用試験体験談と対策講座 |
| 6 | 5 月 21 日 | 渡邊耕二 | JICA 海外協力隊を通じた日本の国際協力活動について |
| 7 | 5 月 28 日 | 田上幸雅 | 日本語の文章表現 (1) 日本語を学ぶ意義・よい文章の条件 |
| 8 | 6 月 04 日 | 田上幸雅 | 日本語の文章表現 (2) 伝わる文章を書く、 |
| 9 | 6 月 11 日 | ウォンキム | 英語学習法について学ぶ |
| 10 | 6 月 18 日 | ウォンキム | 英語学習法について学ぶ |
| 11 | 6 月 25 日 | 附属図書館担当者 | 図書の探し方や借用方法など図書館の基本的な利用方法について |
| 12 | 7 月 02 日 | 早瀬郁子 | ビブリオバトル：図書館にある本の書評を書く |
| 13 | 7 月 09 日 | 早瀬郁子 | 日本語を正しく書く力と話す力の必要性を理解する |
| 14 | 7 月 16 日 | 劉一杰 | 大学における主体的な学びとコミュニケーション：教育心理学から考える学習、期末試験のための課題の提示 |
| 15 | 7 月 30 日 | 保田昌秀 | ☆宮崎が誇る製品と技術 |
| | 8 月 06 日 | | 期末試験 |